

消防団管理事業

消防団は、常備消防と共に地域の消防防災活動における車の両輪をなすものであり、地域住民の生命と財産の安全を守るため日夜活躍している。平常時は訓練のほか、住民指導、巡回広報、特別警戒等多面的活動を行っており、地域の安心・安全を確保するため消防団の役割はますます重要なものとなっている。

当年度における消防団の運営状況は、年度当初9名の新入団員を迎え、総勢245名態勢で24時間365日、災害に備え、各種災害、訓練等に計179回出動した。

本事業は、新入団員の被服を含む消防団員の貸与品購入や出動消防団員に対する費用弁償等に関する消防団人事事業のほか、消防団員の健康保持を目的とした消防団健康診断事業、また、消防団活動をソフト面でサポートするための消防団活動振興事業等、3つの細事業から構成されており、これらをもって消防団員の活動基盤を維持するとともに活動環境の向上に努めた。

1. 年度別消防団員数

全国的に消防団員が減少傾向にある中、本市においては、年6回の消防団定例幹部会議を行うとともに、消防団幹部による各地域での入団促進活動により、毎年度96%以上の充足率を維持している。

年度別消防団員数

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
定数（人）	250	250	250	250	250
実数（人）	241	245	241	243	245
充足率（%）	96.4	98.0	96.4	97.2	98.0

2. 出動状況

本年度の消防団出動状況は、回数が計179回、人員が延べ3,700名であった。内訳は下表のとおり。

平成27年度消防団員出動状況

項 目	火 災	風水害	訓 練	警 戒	その他	計
回数（回）	7	1	138	18	15	179
人員（人）	211	21	2,752	595	121	3,700

3. 訓練等実施状況

消防訓練については、生業を休む主に日曜日において、各分団の訓練計画に基づいた揚送水訓練を行ったほか、全分団の新入団員及び新任幹部団員を対象に、消防訓練礼式の基準に基づく規律訓練を実施した。また、消防車両の運転や機械操作を担当する機械部員76名に対し専門的な技能訓練を実施したほか、震災時において消火栓の代替機能となる遠距離大量送水システムや、林野火災で大きな威力を発揮する林野火災対策用ユニットを使用した訓練を消防署と合同で実施するとともに、春季・秋季の火災予防運動期間中や文化財防火デーにおいては、消防署並びに各対象事業所等と合同で訓練を行い、消防技術の向上に努めた。

実施訓練等

H27年 4月	規律訓練	10月	消防団中級幹部研修	12月	大量送水訓練
	岩湧山かや山焼警戒		現場指揮課程研修		歳末特別警戒
	消防団指導員研修	11月	地域防災総合訓練	H28年	消防出初式
5月 初任基礎教養訓練	機械部員研修		1月	文化財防火デー合同訓練	
6月 備品検査	救命講習		2月	山林火災合同訓練	
8月 南河内地区支部総合訓練	消防合同訓練（秋季）			消防合同訓練（春季）	
9月 大阪府消防大会	消防団初級幹部研修		3月	消防団入退団式	